

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2016年7月27日

ENERGY STAR® コンピュータサーバー パートナー関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR コンピュータサーバー基準バージョン 3.0 第 1 草案に対する意見を歓迎する。EPA は前の二回のオフシーズンサーバー関係者会議の間に収集した意見の全てを見直し検討した。本基準第 1 草案に対する意見の提供期限は **2016 年 8 月 26 日** である。

本基準第 1 草案および補助的資料の主要な目標は：1)アイドル時消費電力要件の改定を確立し、対象範囲をすべてのサーバータイプにまで拡大すること、2)より積極的な電源装置効率要件を決定すること、および 3) 第 2 草案に向けて策定するために稼働状態消費電力メトリクスおよび要件のアプローチに関する意見を収集する。EPA は改定プロセスを通して欧州委員会と協力して作業を行う。

以下は本基準第 1 草案における主な内容の一部である：

- **第 3.2 節**：EPA は単一出力電源装置では 83%/90%/94%および 91%、複数出力電源装置では 90%/92%/89% とし、80plus プラチナと同等のより厳しい電源装置効率要件を提案する。
- **第 3.5 節**：EPA は本基準に稼働状態要件を加えることおよび第 2 草案においてメトリクスおよび効率要件を提案することの意図を述べる。
- **第 3.6 節**：EPA は、ブレード、多重ノードおよび該当のある回復性区分を含めた、全ての 1 および 2 ソケットサーバーのアイドル時効率要件を提案する。最近の効率改良を反映するために新しい基本許容値に加えて、表 5 のアダー許容値についても改定された。
- **第 3.10 節**：EPA は最近の効率改良を反映するために補助的処理加速装置(APA) の最大アイドル時消費電力要件を APA あたり 46W から APA あたり 30W に下げることがを提案する。

EPA の、上記一覧を変更することへの詳細な根拠に関しては、基準を通して注記に含まれている。EPA はサーバーの稼働状態性能を公平に比較するために、市場に出ている全てのタイプの製品に共通する SERT ワークレットスコア(worklet scores) をどのようにまとめるかに関して、関係者と緊密な共同作業を行い続けており、第 2 草案においては稼働状態効率基準に関して提案されたアプローチを公表する。

関係者は基準第 1 草案に対する意見を **2016 年 8 月 26 日までに** 提出すること。意見は e メールにて servers@energystar.gov 宛に送付すること。寄せられた全ての意見は、自身の意見について提出者からの守秘要請がない限り ENERGY STAR 基準策定(product development)ウェブサイトに掲載される予定である。

8 月 12 日午後 12 時から午後 2 時 (米国東部標準時) に EPA は関係者ウェビナーを主催し、ENERGY STAR コンピュータサーバー基準バージョン 3.0 第 1 草案に関しての詳細を発表し関係者の質問や懸念について取り扱う。ウェビナーへの参加を希望する場合は、ウェビナー開催前に [こちら](#) で登録をすること。

EPA と産業およびその他関係者との間の考えおよび情報交換は ENERGY STAR 成功にとって重要である。基準および会議資料は ENERGY STAR ウェブサイトに掲載する予定である。EPA の基準改定に関する進捗を調べるには基準策定(product development)ウェブサイト www.energystar.gov/revisedspecs の「コンピュータサーバー」を参照のこと。

質問もしくは懸念に関しては、小職 Hanson.Steven@epa.gov もしくは 202-343-9836 又は John Clinger John.Clinger@icfi.com もしくは 215-967-9407 に連絡のこと。その他コンピュータサーバーに関する質問は servers@energystar.gov に連絡のこと。ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

Steven Hanson,

ENERGY STAR データセンター製品マネジャー